

利根導水管理50周年寄附金

施設見学会 ～見沼代用水の歴史を学ぶ～

見沼代用水路は1727年（享保13年）に完成し、関東平野に農業用水を供給し続けている歴史ある水路です。
300年の歴史を学びながら、少し違った角度からの施設見学を体験してみませんか！？

開催概要

- 開催日 / **2019年3月9日（土）**
- 時間 09:30 ～ 12:40
- 定員 / **20名**（応募者多数の場合は先着順となります）
- 参加費 / 無料
- 持ち物 / **水紀行パスポート・長靴**
- 集合場所 / **見沼管理所**（埼玉県久喜市菖蒲町大崎760）



見沼代用水路元坝

応募締切 / **2019年2月28日（木）** 必着

応募方法 お電話又はメールにてご応募下さい

独立行政法人水資源機構 利根導水総合事業所

☎ 電話番号 / 048-557-1501 (代) 総務課 平日 9:00～16:00

✉ メールアドレス / wardec-t@mxv.mesh.ne.jp

必要事項

メール件名 「利根導水寄附金施設見学会申し込み」

- ① 寄附者（法人）氏名
- ② 申込者氏名（お子様がいる場合はお子様の年齢）
- ③ パスポート番号（番号の記載がない場合は無効）
- ④ 当日の交通手段
- ⑤ 同伴者人数（1パスポート4名まで）
- ⑥ 連絡がとれる電話番号（携帯電話）

見沼代用水路の歴史

見沼代用水路の歴史は古く、今から遡ることおよそ300年前の江戸時代に築造されました。

現在のさいたま市の東部に見沼溜井という広いかんがい用ため池がありました。八代將軍徳川吉宗が行った享保の改革において、新田開発政策は特に強くすすめられ、その一つとして、見沼溜井を干拓して新田を開発する工事が行われましたが、この工事によりなくなった見沼溜井の代わりとなる用水を利根川に求め、約60kmの「見沼代用水路」を開削し、併せて沿線の新田開発を行いました。

この大規模な工事の施工にあたり、江戸幕府は新田開発の実績があった、紀州藩士井澤弥惣兵衛為永を紀伊の国より呼び寄せました。



井澤弥惣兵衛為永像

注意事項

- 「水紀行パスポート」を必ずお持ちください
- 小学生未満のお子様のご参加はご遠慮ください
施設見学時に安全保護具（ヘルメット、ライフジャケット）の着用が必要となります。（子供用が着用できないお子様は施設見学に参加出来ません）
- 防災対応などやむを得ない場合は中止となる可能性があります。
その場合は申込時に記載いただいた電話番号にご連絡いたします
- 安全管理上、施設見学中は職員の指示に従ってください。
- 当事務所にて「イベント保険」に加入します。
- 公共交通機関にて来られる方につきましては、JR久喜駅まで送迎いたします。

見学プログラム

はちけんぜき・じゅうろくけんぜき

① 八間堰・十六間堰



しばやまふせこし

② 柴山伏越



かわらぶきふせこし

③ 瓦葺伏越

